

令和元年度 京の川の恵みを活かす会 事業実施報告書

【多面的機能発揮事業として実施された活動報告】

■教育と啓発の場の提供

◎淀川大堰見学会および意見交換会

日 時：令和元年5月20日（月）13:00～17:00

場 所：国土交通省淀川大堰

内 容：淀川大堰にてアユ遡上の見学を行うとともに、会議室に移動し関係者による意見交換会を行った。

◎「淀川水系と淀川河口域の恵みを味わう料理会」

日 時：令和元年7月6日（土）

場 所：一心寺研修会館（大阪市天王寺区）

内 容：大阪市漁業協同組合が参加する淀川ブランド推進協議会の主催で淀川水系と淀川河口域の夏の食材を用いた料理会が行われ、活かす会からも参加してきた。京都からは鴨川のコイとゴリを提供し、買っては関西の名物でありながら食されることがなくなった食材をコース料理形式でいただきながら、淀川の今を学んでいただく料理会となった。

◎活動中間報告会を開催

日 時：令和元年8月10日（土） 14:00～17:30

場 所：パタゴニア京都（京都市下京区四条通立売東町）

参加者：24名

内 容：竹門代表より令和元年7月末までの活動報告、鴨川で行われた魚類遡上調査の説明・結果報告、保津川漁協と桂川流域ネットワークによる桂川3号井堰における魚類汲み上げ調査の説明が行われた後、魚類遡上調査等にご協力いただいた皆様から感想・ご意見をいただき、参加者全員で今後の活動計画を含め、意見交換を行った。



◎川の恵みを活かすフォーラムを開催

日 時：令和元年 10 月 27 日（日） 10:00～17:20

場 所：京都大学防災研究所 宇治川オープンラボラトリー 新館セミナー室

参加者：82 名

内 容：淀川流域で活動する様々な組織から令和元度までの活動報告が行われた。また，“京都の川と大阪の海のつながり再興”をテーマに，淀川流域の連携の実践について活発に意見交換が行われた。



◎川の恵みの食味体験会を開催

日 時：令和元年 11 月 2 日（土） 10:00～17:00

場 所：京都大学防災研究所 宇治川オープンラボラトリー 新館セミナー室・中庭

参加者：109 名

内 容：セミナー室において食材に関する説明や会の取り組みの紹介を行った後，アユ，コイ，ゴリ，ビワマス，オイカワ等川の食材や，ウナギやベッコウシジミなど大阪市漁協協力から提供いただいた河口域の食材を試食しながら，川の恵みを活かす方途について意見交換を行った。

